

「生命科学・医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名：四国がんセンター

| | |
|----------------|---|
| 研究課題名 | EMAST 原発性上皮性卵巣癌における MSH3 および p53 異常の追加解析 |
| 研究の対象 | 先行研究（「原発性上皮性卵巣癌における DNA ミスマッチ修復異常の検証（承認 No. 2018-2-151）」、追加解析研究（承認 No. 2021-2-168））において抽出された症例のうち、免疫組織染色による検討で明らかな EMAST が確認された 25 例(当院は 3 例) 研究実施期間：当院研究実施許可日から 2024 年 3 月 31 日まで |
| 研究の目的・方法 | MSH3 遺伝子領域の CNV の検討および MSH3、p53 の DNA シーケンシングを用いて解析する。 |
| 調査データ該当期間 | 西暦 2016 年 6 月 15 日 ～ 西暦 2019 年 1 月 9 日 |
| 研究に用いる試料・情報の種類 | 試料：病理組織切片 情報：病理組織型（施設診断）、年齢、FIGO 進行期、化学療法の有無、投与薬剤、無病生存期間（初回手術日から再発確認日あるいは最終受診日までの月数）および予後 MSH3 遺伝子コピー数、MSH3 及び p53 遺伝子変異情報 |
| 外部への試料・情報の提供 | 試料（手術時摘出標本）の提供は、解析機関である東邦大学、病理診断を行う岩手医科大学に個人が特定されない状態で行われます。 当院から外部への試料・情報の提供開始日は 2023 年 10 月 16 日です。 |
| 研究組織 | 研究代表者 東北医科薬科大学産婦人科 特任教授 渡部 洋 分担研究者 国立病院機構 九州がんセンター婦人科部長 斎藤 俊章 国立病院機構 四国がんセンター婦人科部長 竹原 和宏 杏林大学産婦人科 教授 小林 陽一 東邦大学医学部免疫学 助教 有田 通恒 岩手医科大学病理診断学 講師 刑部 光正 |
| お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば 他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、研究 |

| |
|---|
| 対象者に不利益が生じることはありません。 【照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】 愛媛県松山市南梅本町甲 160 089-999-1111 研究責任者：四国がんセンター 婦人科 竹原 和宏 |
|---|

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：上記「お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。診療情報に関する保有個人情報については、四国がんセンター 医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「個人情報保護方針」をご覧ください。

【四国がんセンター 個人情報、患者さんの権利】

<https://shikoku-cc.hosp.go.jp/hospital/policy/>

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合